

財務ハイライト

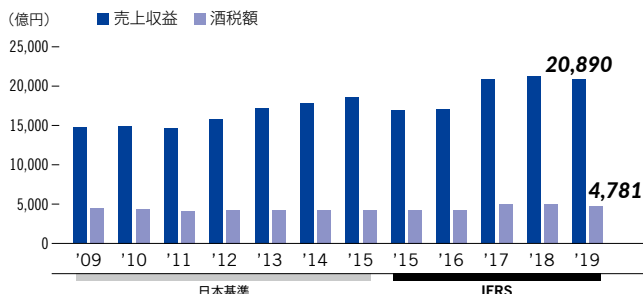
アサヒグループホールディングス(株)及び連結子会社
12月31日に終了した各会計年度

売上収益／酒税額

2兆890億円

(売上収益)

ビール類市場が縮小した酒類事業や円高影響を受けた国際事業が減収となり、トータルでは減収となりました。それに伴い酒税額は減少しました。

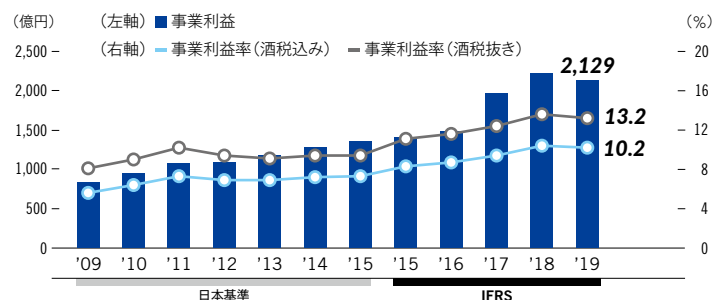


事業利益*1／事業利益率

2,129億円

(事業利益)

食品・国際事業は増益となりましたが、酒類・飲料事業の減益や円高影響などにより、トータルでは減益となりました。

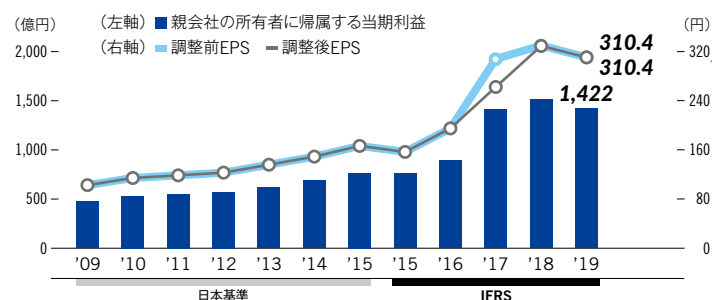


調整後EPS*2／親会社の所有者に帰属する当期利益

310.4円

(調整後EPS)

親会社の所有者に帰属する当期利益は、事業利益の減益に加えて、国際事業の再編による事業統合関連費用の発生などにより減益となり、調整後EPSも低下しました。

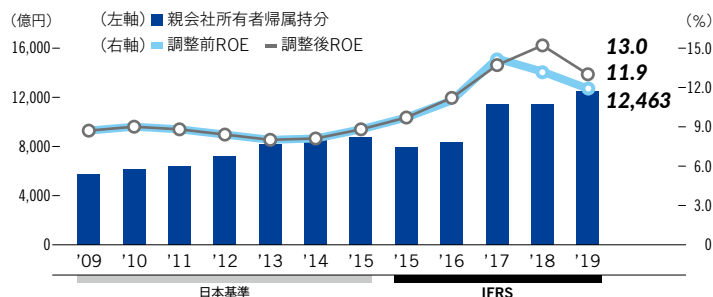


調整後ROE*2／親会社所有者帰属持分

13.0%

(調整後ROE)

調整後ROEは、親会社の所有者に帰属する当期利益の減益に伴い低下しましたが、「中期経営方針」のガイドライン(13%以上の水準)を維持しました。

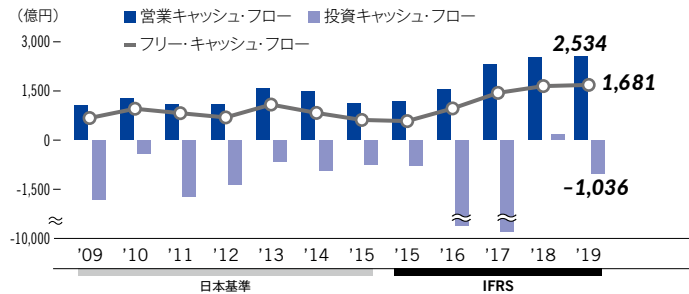


キャッシュ・フロー

1,681億円

(フリー・キャッシュ・フロー)

フリー・キャッシュ・フロー*3は、事業利益の減少に伴い税引前利益が減少しましたが、資産効率の向上への取組みにより、増加しました。投資キャッシュ・フローは、前期の青島啤酒社の株式売却の反動に加え、英国Fuller's社のビール・サイダー事業の買収などにより支出は増加しました。

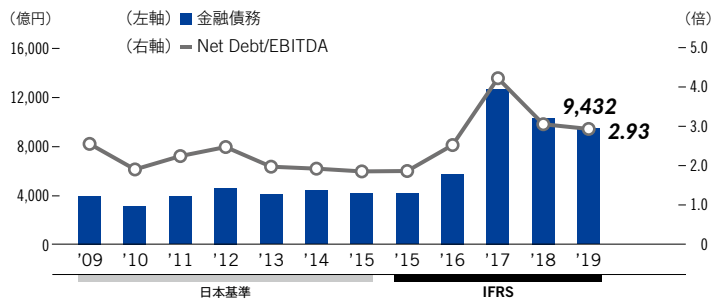


金融債務 / Net Debt/EBITDA*4

2.93倍

(Net Debt/EBITDA)

本業におけるキャッシュ・フロー創出力の向上により、投資余力の拡大に向けて債務削減を推進し、Net Debt/EBITDAは低下しました。

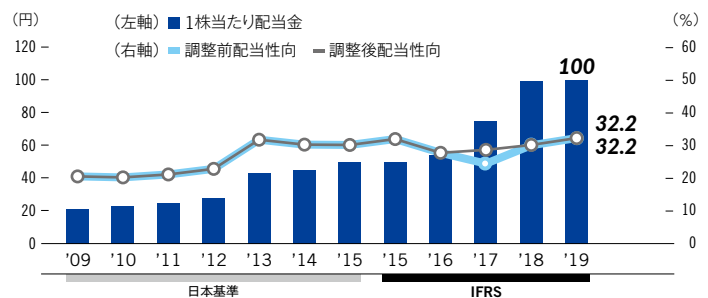


1株当たり配当金 / 配当性向*2

32.2%

(調整後配当性向)

1株当たりの配当金は1円の増配を果たしました。また、連結配当性向は、「中期経営方針」のガイドライン(2021年までに35%を目指した安定的な増配)の達成に向けて段階的に引き上げました。

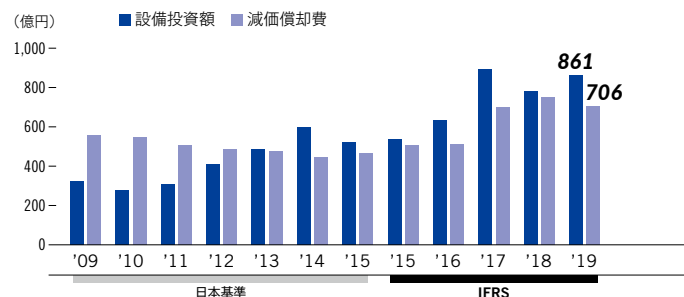


設備投資額*5 / 減価償却費*5

861億円

(設備投資額)

設備投資は、飲料事業の乳酸菌の発酵設備の更新や食品事業のフリーズドライ食品の生産能力の増強のための投資を強化したことなどにより、トータルでは増加しました。



*1 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。

*2 EPS、ROE、配当性向については、調整前・調整後の数値を掲載。調整後は、事業ポートフォリオの再構築や為替変動など一時的な特殊要因を除くベースとなります。

*3 フリー・キャッシュ・フロー＝営業キャッシュ・フロー±有形無形固定資産の取得

*4 国際会計基準(IFRS): EBITDA＝事業利益＋無形資産償却費＋減価償却費

日本基準: EBITDA＝営業利益±のれん等償却費＋減価償却費

*5 設備投資額及び減価償却費には、リース資産及び子会社取得時、商標権は含まれません。